



いわくら観光振興会の木村が、岩倉の素敵な人、モノ、場所などを再発見していくコーナーです♪私のおすすめをどんどん紹介していきますよ！



大正8年に、道路法施行令が公布され、市町村単位での道路の起点・終点および町村の位置を示す指標として、道路元標の設置が義務付けられました。以降、各市町村に設置されたものが道路元標です。



## 第11回 道路元標

昭和28年に施行された町村合併促進法によって、旧町村が統合・合併し、旧町村の道路元標が必要なくなった今も、岩倉町の道路元標は、岩倉市商工会前に残されています。道路元標を無用の長物とするのではなく、まちの歩みを伝える貴重な歴史遺産として捉えることで、歴史や人々の生活の移り変わりを感じることができます。

## PHOTO NEWS まちの話題



### 瞬間、耳を澄ませて

1月24日(土)、第三児童館で「百人一首大会」が開催されました。この大会は40年以上続く恒例行事で、これまで多くの小学生が参加してきました。

今年も多くの小学生が集まり、トーナメント形式で真剣勝負を展開しました。会場はしんと静まり返り、こどもたちは読み上げられる一音一音に耳を澄ませながら、札に集中していました。

また、今年は「小学校を卒業しても百人一首を続けたい」という声をうけ、初めて「中学生の部」を開催し、中学生は総当たり戦で対戦しました。



### 一手から始まる交流

1月18日(日)、地域交流センターみどりの家で「将棋大会」が開催されました。

こどもからシニアまで幅広い世代が集まり、トーナメント形式で対局が行われました。盤面を前に次の一手をじっくり考える参加者の表情は真剣そのもの。対局後には、「この一手がよかった」「あの場面で流れが変わった」など、世代をこえて将棋について語り合う姿が見られました。



## ぺったん餅つき、はずむ笑顔

1月24日(日)、くすのきの家で、岩倉スポーツクラブが「餅つき & 伝承遊び」を開催しました。参加者は凧揚げ、竹とんぼ、メンコ、コマ回し、だるま落としなど懐かしの遊びを体験しました。自作のミニ凧を走り回って楽しそうにあげる様子がありました。

また、同時進行で杵と臼を使った伝統的な餅つきが行われ、杵の重さにちょっとびっくりしつつも、一生懸命に餅つきをしました。自分たちでついた餅は美味しく味付けされ味わって食べていました。



## ワクワク★eスポーツ

多世代交流センターさくらの家で1月24日(日)、ゲームでつながる！ eスポーツフェス2026が行われました。

会場には本格的なゲーム機材が設置され、こどもたちはわくわくした面持ちでシートに座っていました。いざゲームを始めると始めはなかなか上手にできませんでしたが、講師にアドバイスをもらいながらプレイするうちにだんだん上手にできるようになってきました。こどもだけでなく、大人も一緒に交流しながら楽しめる時間になりました。

市ホームページ内イベントアルバムでもイベントや行事の様子を紹介しています。



## 岩倉の誇りを未来へ

岩倉の誇りでもある桜並木を将来に渡って守り続けるため、また、その活動を次世代を担うこどもたちに知ってもらうため、五条川のさくらを守る活動の体験会が行われました。

参加した親子はレクチャーを受けた後、早速植樹を体験。ジンダイアケボノに土をかけ、水をやり、土を押し固めてきれいな花が咲くように願いを込めて作業をしました。その他にも、枝切や肥料を打ち込む保存活動を体験し、参加者からは春にまたきれいな桜を咲かせてほしいとの声が聞かれました。



## 親子で感じる土のぬくもり

愛知県児童総合センターの移動児童館「ゆめたま号」が岩倉市にやってきました。1月29日(木)、第三児童館で「土であそぶ～おやこであそぶプログラム」が開催されました。

参加したこどもたちは、土の粘土をこねたり、丸めたり、足で踏んだりしながら、土の柔らかさやひんやりとした感触を全身で楽しみました。最初はおそるおそる触っていた子も、次第に夢中になり、思い思いに粘土遊びを楽しむ様子が見られました。